第10回中学生海外派遣団帰国

8月16日から24日までの9日間、東秩父村中学生海外派遣事業で、東秩父中学校の3年生7名、2年生17名と引率の指導員4名の計28名が、国際交流と海外での異文化を体験するため、ニュージーランドを訪問しました。

16日に成田空港を出発した派遣団員は17日早朝にオークランドに到着後、専用バスで現地の自然と先住民族の文化を体験するためにロトルアに向かいました。途中ワイトモで世界的にも珍しい「土ホタル」を見学し、生徒たちは神秘的な光景に驚いていた様子でした。

翌18日には、ロトルアで羊ショー、間欠泉、先住民族マオリ族の文化を視察見学しました。

19日から22日の4日間はオークランド・マヌカウ市にあるホーウィックインターミディエイトスクールでの歓迎式と文化交流、バディ（学校で一緒に行動する生徒）とともに、それぞれの教室で授業に参加、そしてホームステイを体験するという、期待と不安の日々を過ごしました。

歓迎式では歌と踊りでの盛大な歓迎を受けました。こちらからは団員全員で「さくらさくら」のリコーダーによる演奏と「東秩父中学校校歌」、「翼をください」の合唱を行い、さらにコマや剣玉などを披露し、相互交流を深めることができました。

19日と20日の授業体験では、各団員が積極的にコミュニケーションを図り、有意義な時間となったようです。

21日、22日はそれぞれのホストファミリーと休日を過ごし、団員は家族の一員として、英語や身振り手振りで家族とのコミュニケーションを図るなど貴重な体験をしました。

23日は、団員の班別自主研修です。各班で事前に計画したオークランド市内の施設コースをリンクバスという公共バスを利用して見学し、思い出に残る一日となりました。

村ではこの海外派遣での体験が、参加者自身の今後の学校生活や将来の進路を考えるうえで、大いに役立つことを期待しています。

野球スポーツ少年団優勝!!

ー全労済カップ争奪第35回埼玉県スポーツ少年団軟式野球交流大会西部ブロック予選会ー

8月15日、21日の2日間にわたり、飯能市民球場を中心として開催された全労済カップ争奪第35回埼玉県スポーツ少年団軟式野球交流大会西部ブロック予選会で東秩父野球スポーツ少年団が優勝の栄冠に輝きました。この大会は西部地区約100チームの予選を勝ち抜いた市町村代表48チームを3ブロックに分け、10月に開催される埼玉県大会に出場する8チームを選考する大会でCブロック第1代表となり、埼玉県大会に出場することができました。

副キャプテンの吉田俊介君は、「県大会出場という目標をもってがんばってきて、優勝し、出場することができました。とてもうれしいです。でも、ここで満足せず、県大会でも上位をめざし、力を合わせて頑張りたいです。」と話していました。

なお、埼玉県大会の日程は10月17日、23日、24日（3日間）で吉見総合運動公園野球場および県営大宮公園野球場で開催されます。

優勝おめでとうございます！埼玉県大会もがんばってください。